

国際プロジェクトの事例分析特論 I(2011 年度冬学期)

水曜日 3 時限 (13:00~14:30)

担当: 堀井 秀之教授 (E-mail: horii@civil.t.u-tokyo.ac.jp)

本田 利器准教授 (E-mail: rhonda@civil.t.u-tokyo.ac.jp)

加藤 浩徳准教授 (E-mail: kato@civil.t.u-tokyo.ac.jp)

石田 哲也准教授 (E-mail: tetsuya.ishida@civil.t.u-tokyo.ac.jp)

九門 崇研究員 (E-mail: kumon-t@ip.civil.t.u-tokyo.ac.jp)

アシスタント: 小松崎 俊作研究員 (E-mail: komatsuzaki@civil.t.u-tokyo.ac.jp)

概要:

国際プロジェクトに関わる事例を取り上げ、ケースメソッドによる学習を通じて、国際プロジェクトに関わる知識、問題分析方法・能力、問題解決策立案方法・能力を習得する。特に、それぞれ専門知識を持った教員の下での学習を行うことによって、各ケースに関わる専門的知識を身につけることも求められる。

関連講義:

問題分析・解決に関しては、「社会技術論(学部 3・4 年, 冬学期, 堀井秀之)」で総合的学習を行う。また、社会技術・問題解決能力については、「社会技術特論(大学院・学部共通, 夏学期, 堀井秀之)」で、ケースメソッドおよびケース作成を通じた実践的学習を行う。ケースメソッドを通じた学習は、「国際プロジェクトのケーススタディ(学部 3・4 年, 夏学期, 堀井秀之)」、「応用プロジェクト V(学部 3・4 年, 冬学期, 堀井・本田・加藤)」においても実践されている。

取り上げるケースと学習内容:

1. ストックホルム渋滞緩和事業にみる IBM の取り組み (UT) = 担当・堀井

学習内容: 社会イノベーション, 問題の全体像把握, 問題解決策の設計と実装, 意思決定分析

関連講義: 「社会的意思決定論(学部 3・4 年, 夏学期, 加藤浩徳)」

「交通学(学部 3・4 年, 夏学期, 家田仁)」

その他, 他専攻・研究科における関連講義

参考図書:

2. Unilever in India: Hindustan Lever's Project Shakti – Marketing FMCG to the Rural Consumer (HBS) = 担当・九門

学習内容: BOP ビジネス, 企業の海外進出, インドビジネス, 経営戦略評価

関連講義:

参考図書:

3. Resettlement Problem in Batangas Port Development Project in Philippines (UT) = 担当・加藤

学習内容: 住民移転, 問題の全体像把握, 解決策の評価, 本質的問題の抽出

関連講義: 「社会的意思決定論(学部 3・4 年, 夏学期, 加藤浩徳)」

「開発とインフラ(学部 3・4 年, 夏学期)」
「国際プロジェクト序論(学部 2 年, 冬学期)」
「アジアの経済開発(学部 3・4 年, 冬学期)」

参考図書:

4. 建設技術移転・普及のメカニズムー自己充填コンクリートを例として(UT)＝担当・石田

学習内容: 技術移転, R&D, 技術経営戦略の立案・評価

関連講義: 「基盤技術政策論(学部 3・4 年, 夏学期)」
「技術移転論(学部 3・4 年, 夏学期)」
「企業と技術経営(学部 3・4 年, 冬学期)」
「コンクリート工学(学部 3・4 年, 冬学期)」

参考図書:

5. 町長交代後の清武町役場の災害対応能力の向上(UT)＝担当・本田

学習内容: 危機対応, コミュニティ, 組織, リーダーシップ, 自治体の役割

関連講義: 「自然災害と都市防災(学部/大学院共通, 冬学期)」
「都市災害軽減工学 E(大学院, 夏学期)」

参考図書:

6. Manila Water Co. (HBS)＝担当・堀井

学習内容: PPP, 問題の全体像把握, 問題解決策の影響分析・評価

関連講義: 「社会基盤マネジメント特論 E(大学院, 夏学期)」
「プロジェクトマネジメント(学部 3・4 年, 冬学期)」
「公共経営学(学部 3・4 年, 冬学期)」
「アジアの経済開発(学部 3・4 年, 冬学期)」
「国際プロジェクト序論(学部 2 年, 冬学期)」
その他, 他専攻・研究科における関連講義

参考図書: 「水ビジネスの現状と展望 水メジャーの戦略・日本としての課題」(服部聡之, 2010)
「水ビジネスの教科書 ～水サービスを発展させる官民協働と業務改善の進め方～」(玉真俊彦, 2010)
「国際インフラ事業の仕組みと資金調達—事業リスクとインフラファイナンス」(加賀隆一, 2010)

ケースタイトル末尾の()内は出典を表す。

HBS＝「Harvard Business School Case Library」

UT＝専攻教員らが独自に作成・編集したケース

ゲスト招待の場合は明記すべし

スケジュール:

第1回	10月5日	堀井	導入(ケースメソッド概要), ケース1 配布・S.R.1(内容整理)
第2回	10月12日	堀井	ケース1 意思決定分析(G.W.), ケース2 配布
第3回	10月19日	九門	
第4回	10月26日	九門	
第5回	11月2日	加藤	
第6回	11月9日	加藤	
第7回	11月16日	加藤	
第8回	11月30日	石田	
第9回	12月7日	石田	
第10回	12月14日	本田	
第11回	12月21日	本田	
第12回	1月11日	堀井	ケース6 問題・解決策の因果関係分析(G.W.), S.R.3(因果分析)
第13回	1月18日	堀井	ケース6 戦略評価(G.W.), 全体ディスカッション
第14回	1月25日	堀井	
予備日	2月1日		

(S.R.はショートレポートの略, G.W.はグループワークの略)

成績評価:

出席 20%(減点式:欠席1回につきマイナス4%)

発言 20%(加点式:各ケース5%×4)

各ケース分析(合計) 60%(各ケース15%×4)

重要な注意:本講義では未受験は認めない。上記成績評価で50%を切った場合には不可となるため、十分考えて履修登録をすること。

注意:事前に欠席することがわかっている場合には、あらかじめ担当教員に相談の上、欠席扱いとするか、出席扱いとするための条件を検討するかの対応を推奨する。

ショートレポートとは、授業中に課されるレポートを指す。たとえば、「現在分析中のケースについて iEdit または IdeaFragment2 で問題分析を行い、ファイルを来週日曜日までに提出せよ」など。

利用ソフトウェア:

授業中のディスカッションやレポート等に利用する。ともにフリーソフト。

IdeaFragment2

<http://nekomimi.la.coocan.jp/freesoft/ideafrg2.htm>

iEdit

<http://homepage3.nifty.com/kondoumh/software/iedit.html>